

J & T 環境株式会社の SDGs への取り組み

J&T 環境株式会社（社長：露口哲男、本社：神奈川県横浜市、以下、「J&T 環境」）は、総合リサイクル企業としてサーキュラーエコノミーの核となるリサイクル事業を展開していますが、事業そのものを SDGs 達成の取り組みと位置付けています。特に、SDGs17 のゴールのうち、事業活動との関連性の強い 8 つの目標達成に取り組み、循環型社会、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

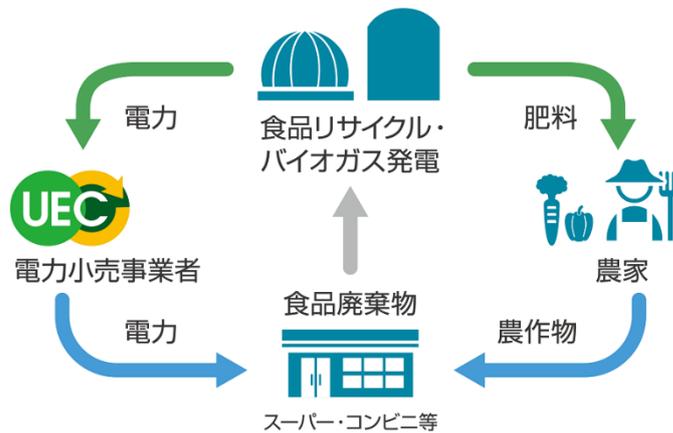


現在 J&T 環境が、さまざまな廃棄物のリサイクル事業に取り組む中で、2 本柱として注力しているのが、水平リサイクルと地産地消型リサイクルです。

水平リサイクルとは、使用済みの製品を資源にし、再び同じ製品として利用することです。J&T 環境では、使用済み PET ボトルを再び PET ボトルへ戻すボトル to ボトル（B to B）の事業や、廃ブルーシートから新たなブルーシートを製造するプロジェクトにも参画しています。



地産地消型リサイクルとは、その地域で排出された廃棄物を再生可能エネルギーとして循環させ地域に還元することです。J&T 環境では、地域の食品廃棄物を処理し発生したバイオガスを電力に変え、地域へ供給するサービス（創電割[®]）や、処理の過程で発生した廃液や汚泥を肥料としてリサイクルする取り組みも行っており、食品廃棄物から電力と肥料を創出するダブルリサイクルループを目指しています。



また、近隣自治体と災害廃棄物に関する協定を締結させて頂き、日常から災害時のシミュレーションを行うなど、災害対応の面でも地域との連携を強化しております。このような取り組みが認められ、2022年7月には横浜市、8月には川崎市よりSDGsの認証を取得することが出来ました。さらに、J&T 環境では経済成長に伴い廃棄物処理問題が深刻化している東南アジアで、国内の知見を活かした産廃処理・発電事業を進めています。

J&T 環境は今後も国内にとどまらず、世界の循環型社会、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

■登録・認証実績

・Y-SDGs【上位（superior）】（横浜市 2022年7月29日）



・かわさき SDGs ゴールドパートナー（川崎市 2022年8月24日）

